

公設公民館版「市長とドンドン語ろう！」 令和4年（2022年）4月7日開催の追加のご意見

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>《当日発言し、後日、追加意見も提出》</p> <p>このたびの市長対面による意見交換は、大変ありがたかったが、当日は公民館自主講座自治会長の発言が多く、講師や受講生の生の声が少なく感じた。</p> <p>■自主講座の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が生きがいとできるのは、講座の楽しさ、受講料の安さ（月300～1,000円）、受講日程が安定していることにある。 ・受講生にとってできれば避けたいことに、自治会費の支払い、受講生による役員選出、自治会への出席などがある。 ・受講生は、毎回の授業後の資料提出や会計報告を負担に感じている。 <p>受講生は、本音を言えば自由に楽しくありたいし、煩雑なことはしたくないものだ。そこを理解してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の講師の固定化とそれに伴う権限の肥大化が問題である。 <p>講師の中には、長く務めたことで公民館と親密にコミュニケーションをとるようになり円滑な運営を図る方もいるが、一方で、金銭感覚がいまいで講座を私物化するような方もいる。辞めてもまた講師に採用されるような現状がある。</p> <p>よって改革の必要性は大いにある。問題とされていることは、受講生からの届けで明るみに出たものが多い。</p>	<p>（生涯学習課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習サークルでは自治会の設立および加入は任意とする方向で検討していく。 ・自主講座では、講師の人選は「講座内で協議決定する」となっており、講座生主体の運営をお願いしてきたところである。 <p>生涯学習サークルでは、これまで以上に各サークルの主体性が尊重され、講師も会員の総意で選定することになる。</p> <p>なお、これまで同様、必要に応じて公民館から講師を紹介するなどの支援を行っていく。</p>	文化市民局	生涯学習課
2	<p>■サークル活動の対策</p> <p>長く指導している講師も、受講日程の確保ができるのであれば改革に賛成する人も多い。誰もが自由にさまざまな講座を指導し、受講することができるようになる。</p> <p>何年も入れない講師も多い。マンネリ化の悪い風習を、公平に、いい方向に、改めてもらう必要があり、そうすることが受講生の増加につながる。講師を変えたことで新しい受講生が増えた例も多くある。</p>	<p>（生涯学習課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の選定についてはあくまでも各学習サークルの裁量に委ねるが、必要に応じて、公民館から講師を紹介するなどの支援を行っていく。 	文化市民局	生涯学習課

公設公民館版「市長とドンドン語ろう！」 令和4年（2022年）4月7日開催の追加のご意見

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>■目標の提案～受講生の増加に向けて 現在、いくつものカルチャーセンター、講座教室がある。熊本市でできないアピールポイントは、校区别など細かに分かれていることにある。その特徴を活かし、校区と連携して教室の案内や発表会を開催してはいかがか。校区対抗も面白いと思う。細かく分かれた地区で発表会を開催し多くの参加者で盛り上がっている団体もあり、これが自然と教室のPRにもなっている。</p>	<p>（生涯学習課） ・これまでも校区自治協議会をはじめ、各種団体等と連携した事業を実施してきた。今後も、その校区ならではのヒト・モノ・コトを生かした活動を通して、まちづくり・人づくりを行っていく。</p>	文化市民局	生涯学習課
4	<p>■各公民館に裁量権を 市長も、19ある公設公民館は立地により事情が異なっているので、それぞれ地域の特性を考慮した運営をしてはどうかと言っていた。私も同感である。 すべて生涯学習課が決めるのではなく、各公民館に生涯学習サークルの認定、予約のやり方（年間での可否）などの裁量権をある程度与え、生涯学習課と打ち合わせを経たうえで決めてはいかがか。</p>	<p>（生涯学習課） ・利便性向上のため、各館の裁量枠を設けることについては、自主講座自治会連合会等からも意見を伺いながら今後検討していく。</p>	文化市民局	生涯学習課
5	<p>私は地域ボランティアの一人として日ごろ公民館を利用している立場から、意見、提案させていただく。</p> <p>■貸館時間の変更とロビーの充実 現在は午前・午後・夜間の3枠だが、2時間ずつに区切り貸館コマ数を増やす。 学習会も会議もほとんど2時間で終了するので、コマ分けは可能と考えられる。役員会などの打ち合わせで必要な場合は、ロビーを充実させてロビーでの打ち合わせを促す。（公民館によってはそのスペースがとりにくいところあるが。） 東京都荒川区の公民館では、夏の暑い時期、公民館ロビーを開放して高齢者の憩いの場になっているとのニュースを見た。高齢者だけでなく、子育て世代の親たちが集える場にできないだろうか。</p>	<p>（生涯学習課） ・時間の枠については、講座の現状に合っているような制度を検討したい。実際に利用している方の声を反映させたい。 また、公民館ロビースペースには限りがあるが、できる限り共有スペースを確保し、来館者の交流促進に努めていく。</p>	文化市民局	生涯学習課

公設公民館版「市長とドンドン語ろう！」 令和4年（2022年）4月7日開催の追加のご意見

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	<p>■Wi-Fi環境の充実</p> <p>Zoom講習会を実施したときなど、公民館のWi-Fiが弱く、参加15人中半数が誤作動を起こした。スマートフォンを利用しての講習だった。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染の拡大で通常は対面での子育て支援のお話会もZoomによるお話会に切り替えたが、公民館での配信は、Wi-Fiの問題で受信がうまくいかず一度立ち上げなおしをした。</p> <p>昨年12月に校区小学校と地域をつないで防災講演会を企画したが、感染症対策のため地域参加者が集まる公民館ホールと校区小学校とをZoomでつなぎリモート講演ができないか試してみたことがある。幸い感染者0人であったため、実際には小学校体育館で実施することができたが、今後はこのようリモートを取り入れた企画が増加すると思われる。ところが、公民館には大きなモニターが無い。</p> <p>公民館におけるWi-Fi環境の整備は急務であると同時に、公民館から配信できるよう、Zoomライセンスの取得、配信機器（専用パソコン、マイク、照明）も整備されれば、公民館の利用の幅が大きく広がるのではないかと。</p>	<p>（生涯学習課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大を受け、学習インフラの整備は喫緊の課題のひとつである。 今年度は、各区にZoomライセンスとタブレット端末を導入し、双方向型のオンライン講座を開設する予定であり、次年度以降は全館導入を検討している。 また、Wi-Fi環境についても今年度中に各館の主要な貸室への整備を予定している。 	文化市民局	生涯学習課
7	<p>■子育て支援、学校保護者活動を通しての次世代利用者の確保</p> <p>私自身、中学校の家庭教育学級長を務めた時期に、公民館がさまざまに利用できること知った。また、現在子育て支援も行っているが、その中から、お母さんが独自のサークルを立ち上げ、公民館を利用する人たちも出てきた。地域の若い人たちの利用を促すには、学校活動（学年レクレーションや家庭教育学級など）での利用を促進することもひとつの手段と思う。</p>	<p>（生涯学習課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の公民館利用促進は長年の課題のひとつである。 家庭教育学級をはじめ、親子対象の講座や子育てサロン、児童館（室）活動などを通して若い世代の学び・交流が深まるような手だてを講じていく。 	文化市民局	生涯学習課